

# ABC検診(胃がんリスク検査)を受けましょう!

## ご存知ですか?

日本人の病死の死因で第一位はがんですが、その中で胃がんは上位を占めており、毎年約5万人の方が亡くなっています。しかし、最近では治療法も発達し早期に発見すればほとんどが治り、より早期に発見すれば開腹手術を受けることなく内視鏡による粘膜切除のみで治療することができるようになりました。胃がん検診というと胃透視や胃内視鏡検査が一般的ですが、最近注目されているのが採血による検査法です。胃がんの原因のほとんどがピロリ菌感染であることがわかっています。また、ピロリ菌感染の期間が長いと胃がんになりやすい萎縮性胃炎になります。そこで血液中のピロリ菌抗体を測定してピロリ菌感染の有無を調べる検査と、血液中のペプシノゲンを測定して萎縮性胃炎の有無を調べる検査を組み合わせ、胃がんになりやすいかどうかをリスク分類する検診がABC検診です。ABC検診は採血による検査なので検査が受けやすく、一度に多人数の検診が可能であり、しかもがん検診の目的である早期がんの発見率が高いのです。しかし、ABC検診は胃がんを見つける検診ではなく、胃がんになるリスクを判断し、危険性のある方には精密検査を受けていただく二段構えの検診です。最近ではピロリ菌の除菌治療を受けられる方が増えました。除菌治療を受けられた方はABC検診の判定が変わります。除菌された方はピロリ菌抗体は陰性になりますが、萎縮性胃炎は残りますので胃がん発生の危険性が0にはなりません。以上のことを理解していただき、簡便で早期胃がん発見が可能であるABC検診を受けましょう。

## 胃がんリスク検査 ¥5400 (※他の検診に追加する場合は¥4320)

ABC検診とは、ピロリ菌の有無と胃粘膜萎縮を調べるペプシノゲン検査を組み合わせ、胃の健康度を調べる採血検査です。①月・火・木曜11:00～、②月～金14:00～ いずれかでご予約ください。

		ヘリコバクターピロリ IgG 抗体検査	
		陰性 10未満(-)	陽性 10以上(+)
ペプシノゲン検査	陰性 (-)	<b>A</b> 	<b>B</b> 
	陽性 (1+) ~ (3+)	<b>D</b> 	<b>C</b> 

- A** 健康的な胃
- B** 少し弱った胃  
胃潰瘍・十二指腸潰瘍に注意
- C** 病気になりやすい胃  
定期的な検査が必要
- D** かなり弱った胃  
胃ガンなどの病気になるリスクが高い

採血だけの簡単な検査です。食事制限もありません。



### 健診だより Vol.10



### 健診センターより

- \*人間ドック 月・火・木の実施日
- \*センター健診 市の情報誌をご覧ください
- \*健康教室・健康相談 毎月第2金曜日 (予約不要・無料です)

健診に関するお問合せ・予約は下記までご連絡下さい。

健診センター 電話0940-37-0007

### 編集後記

最近、連日のようにニュースでエボラ出血熱の感染拡大について報じられています。幸いなことに、まだ日本国内での発生は報告されていません。しかし、対岸の火事とのんびり見物しているわけにはいかず、国を挙げての水際作戦が必要です。では、我々は感染予防のため何をすればいいのでしょうか? エボラ出血熱は、感染した時の致死率は高いのですが、実は感染率はインフルエンザや風疹と比較するとずっと低いのです。感染経路が空気感染ではなく、感染者の体液が直接体内に入らないと感染しないからです。しかもエボラ出血熱ウイルスはアルコールや消毒液に弱いのです。ということは、外出した時、特に多くの人が集まる場所に行かれた時などは、うがいや手洗いなどを忘れないようにすることです。その後アルコール消毒まで行うともっと安心ですね。あれ? ...結局、インフルエンザの予防法と一緒にやらない? ...そうです!! ウイルスの種類に関わらず、うがい・手洗いはウイルス感染の予防の基本なんです。

